

1 基本情報

事業名称	西区のまつりを活かしたコミュニティの活性化事業				
事業目的	西区の歴史的伝統行事であるだんじりやふとん太鼓を活かし、地域コミュニティの醸成と西区における魅力発信及び国際交流に寄与することを目的とする。				
事業概要	西区役所周辺に鳳地車連合・津久野地車連合会のだんじりが集まり、パレードを実施する。海外の方に西区の歴史・文化に触れてもらうため、市内及び近隣の大学等に在学している留学生を招き、だんじりの紹介、パレード見学などの交流会を開催する。				
実施主体	西区のまつりを活かしたコミュニティの活性化事業 実行委員会	実施場所	西区役所周辺	実施時期	令和7年10月5日

2 設定指標

活動指標	交流会に参加した留学生数（人）		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	30
		実績	21	27	25	34
成果指標	だんじりパレードの見学者数（人）		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	約35,000
		実績	約30,000	約30,000	約35,000	約35,000

3 事業評価

決算額 3,318,310 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
伝統行事であるだんじりやふとん太鼓を活用し、地域コミュニティの醸成と魅力発信、国際交流の促進を図るものであり、地域資源を活かした内容となっている。留学生との交流会の実施により、文化理解や発信力の強化にも寄与しており、区の特色を活かした事業となっている。		既存の祭礼行事と連動して実施することで、新たな大規模な運営体制を構築することなく、一つの事業で「地域コミュニティの醸成」「区の魅力発信」「国際交流」の複数の効果を生み出しており、効率的な事業となっている。		西区の伝統文化を活かした魅力発信とコミュニティ形成、さらには国際交流を同時に実現する施策として高い意義を有している。国際課と連携した市内留学生の参加による国際交流会では、わが国の歴史・文化の理解促進と海外への発信にもつながっている。一定の集客実績と参加実績を伴い、区民利益や対外的なPR効果も認められることから、総合的には政策効果の高い事業であると評価できる。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
自治会や祭礼団体など地域住民の主体的な参画に加え、国際課と連携し留学生の参加を促進するなど、庁内外の協働体制が構築されている。特に地域の伝統行事を担う団体と行政が連携しながら事業を実施している点は、地域資源の継承と発展の両面で意義がある。		西区みらい指針の「まちの資源をつないで活かす」という方向性に合致する事業であり、多数の来場者や留学生へのPRを通じて、西区の魅力発信及び認知向上に寄与している。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	近隣住民の価値観の多様化やパレード当日の来場者増加に伴う地域理解など事業効果の継続性に課題がある。	今後の方向性	継続
対応方針	自治会や祭礼団体など関係者との連携を強化し、ルール周知を徹底するなど継続的な取組により事業効果の向上を図る。		